



桐花

大槌町立吉里吉里学園
小学部 通信 No10
令和5年8月31日
文責 藤井

2学期に入り毎日酷暑が続いています。その中でも、子ども達は学校での活動や「吉里吉里祭り」に向けての練習等に頑張って取り組みました。8月26日は今年のプール学習の成果を保護者の皆様方に見ていただくための「校内水泳授業参観」を実施し、たくさんの保護者の皆様にお運びいただきました。子ども達は今年も水泳の学習に一人ひとり目標を持って取り組みました。「頭まで潜れるようになった子・2.5mのクロールができるようになった子…等」頑張りもそれぞれでした。来年も一人一人の成長が楽しみです。

また、次の日27日は吉里吉里祭りが行われました。コロナ禍により中止していたお祭りが久しぶりに開催され小学生も踊りや郷土芸能に参加しました。あらためて、この吉里吉里地域の「伝統を大切に作る心」を感じる催しでした。子ども達のお世話を下さった皆様に感謝申し上げます。



1年生と2年生は「水と友達になるコース」と泳ぎの基礎になる「けのび・バタ足」に挑戦するコースに分かれて練習を頑張りました。今日はお父さんやお母さんに応援していただき、いつもより長く潜れたり、いつもより長く泳げたり、一人一人が頑張る姿が見られました。来年は25メートル泳げるように頑張ります。



3年生は25メートルをクロールで速く泳ぐことに挑戦しました。息継ぎも覚えて、25メートルをたくさんの友達が泳げるようになりました。中には20秒台で泳げるようになった友達もいてびっくりしました。

来年は水泳大会への練習にも参加して背泳ぎや平泳ぎにも挑戦して頑張ります





水泳記録大会で大活躍だった4・5・6年生は救急救命の学習で「着衣泳」に挑戦しました。水着の時は巧みな泳ぎを見せた4・5・6年生でしたが服を着ていると思うように泳げないことを体験しました。次に緊急時の時の対処法として背浮きの練習をしました。さらに浮かんで救助を待つためにペットボトルで浮く訓練をしました。「おぼれている人を見つけたら、助けに入水するのではなく周りに知らせたり身近なもので救助の補助をしたりすること」を学びました。

感動・一体感～吉里吉里祭り～ 26日宵宮～27日町内



本校児童が多数出演しております。出演児童全員をご紹介したかったのですが、ほんの一部の掲載になってしまったことをお詫び申し上げます。今年度の郷土芸能の発表は大神楽です。

